

1) 基本計画(案)について ※基本計画(案)に関する意見集約の状況

・市民等との対話や説明会を通じて、いただいた様々な意見を分析し計画案へ反映しています。

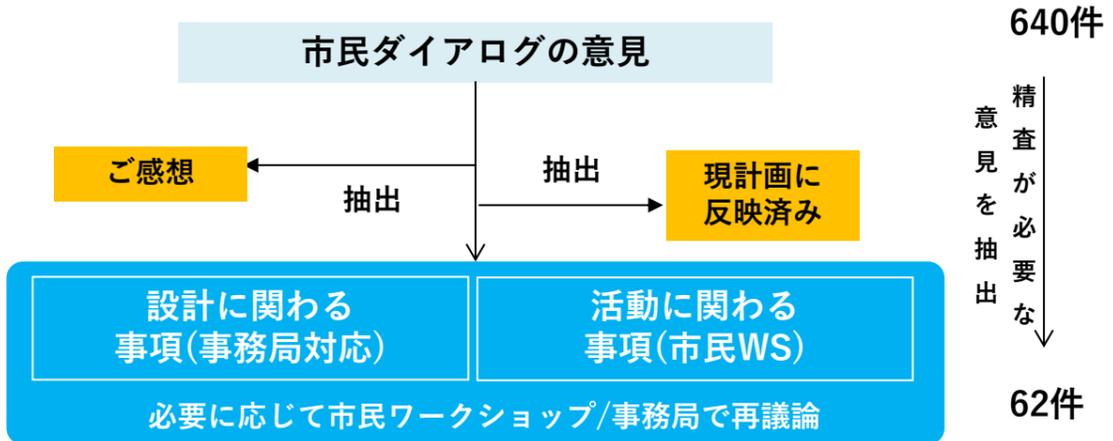
■市民ダイアログからのご意見

・昨年度ヒアリングを行った団体を対象とし、「ヒアリング」を発展させ「ダイアログ」として計画の議論を行った。 ※ダイアログとは「対話」「意見交換」を意味する言葉。

期間：2019年3月15日～7月2日
対象：平成30年度市民ヒアリング(約1,000人)の対象の100団体、市民509名
内容：計画案(第2回推進会議時点)の内容について

○結果及び今後の対応

・計640件の意見を精査し、計画内で既に達成されている意見等については、今後も計画のベースとしていく。なお、再度議論が必要な意見が62件(全体の10%程度)ある事が分かった。
・再度議論が必要な意見であった「建築等の運用方法に関わる意見」や「舗装仕様等の設計に関わる内容」等については、今後の設計の進捗に応じて事務局内で方針を定めていく。
・それ以外の施設要望や活動内容等については、今年度の市民ワークショップの中で再度議論を行うことにより、計画への反映を検討していく。



○主な意見のカテゴリ分け

黄：ソフト 青：ハード 灰：その他全体

イベント イベントが開催できるスペース	体験・学び 農業体験や環境教育の場	防災 防災機能の充実	商業施設・遊戯施設 商業施設、遊戯施設整備
担い手 講座開催や資材提供等	広場・園路 ハーフメイド広場	屋根 大きな屋根の設置	交通 駅から公園へのアクセス
駐車場 駐車場の増設	トイレ トイレの増設	倉庫 貸出倉庫への肯定的意見	事業方針について スケジュール等への意見
夜間利用 安全な夜間利用のための照明の設置や管理を望む意見	施設連携 周辺の施設との関わりについての意見	公園のありかた 公園の根本的なあり方についての意見	管理・運営 市民や民間も公園の管理・運営を担いたいという意見

■中央公園未来トークからのご意見



市民との車座形式により、「公園のコンテンツを作っていく「担い手」としての意見」と「公園を使う側の「使い手」としての意見」の収集を行った。

日程：2019年5月12日
対象：市民ヒア・ダイアログ・H30WS参加者、一般参加等
内容：*計画案の共有、事例紹介、仲間・アイデアの輪を広げるための市民車座ディスカッション

- 「担い手」の意見については、今年度のワークショップのグループ分けの根拠とした。
⇒【担い手意見の分類】
森づくり/子供/スポーツ健康/イベント開催/コーディネーター
- 「使い手」の意見については、現計画案との整合を確認した。
⇒【使い手意見の分類】
キャンプ・BBQ/子供、遊具/食/森の活用/ペット/スポーツ/軽い運動/ゆったり過ごす/生物/イベント/夜間利用/体験

■地権者説明会からのご意見

計画地内の地権者に向けた説明会を行い、様々な意見をいただいた。



期間：2019年4月25日～28日
対象：整備予定地の地権者
内容：計画案の内容、整備予定等の説明・意見交換

Q モデルとなる公園はあるか

⇒官民連携の例として東京の「南池袋公園」、市民参画の例として大阪の「泉佐野緑地」「安満遺跡公園」、その他、園内の設えや施設規模等の例として 岐阜の「学びの森」等を当公園の計画モデルとして参考にしていく。

Qデッキの計画はどうなっているか、寺部小学校の南側法面に植樹した桜の景観に配慮してほしい。

⇒現在のプラン案に反映していく。

Qサッカー場、野球場についてはどう考えているか。

⇒市内の個々の施設の充足状況やスタジアムとの連携の観点等をふまえてプラン案に反映していく。

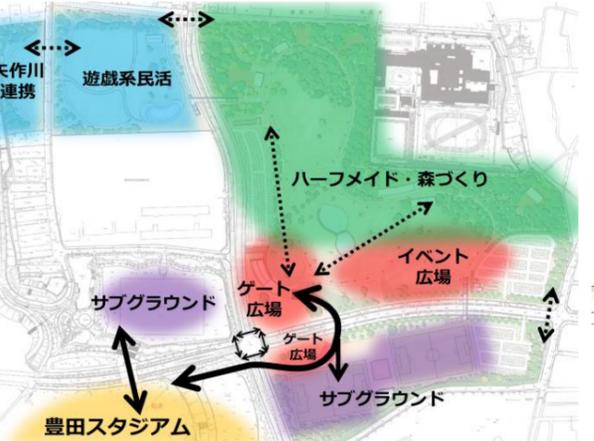
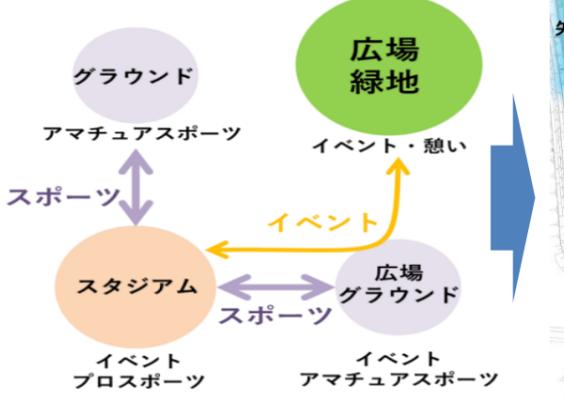
■有識者からのご意見

昨年度に引き続き有識者より助言を頂いている。

●主なご助言内容

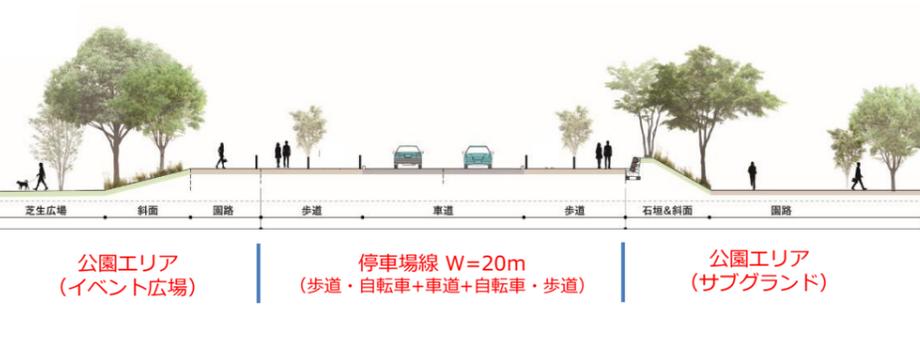
- ・エリア毎の性格を考慮し、スポーツの連携、イベントの連携という観点で動線を構成すること。
 - ・スタジアムとの連携等、第一期整備範囲との連続性を考慮し、立体横断施設のあり方を検討すること。
 - ・駐車場線においては、乱横断防止をすとしてもフェンスのみで境界を作るのは景観上も利用上も好ましくない。植栽や地形による縁切りとしていくのが良い。
- ※寺部御立線については、中央分離帯の設置見込み(予定)

(エリア連携の概念図とゾーニング図)



地形・柵・植栽の配置イメージ

(停車場線断面イメージ)



1) 基本計画 (案) について

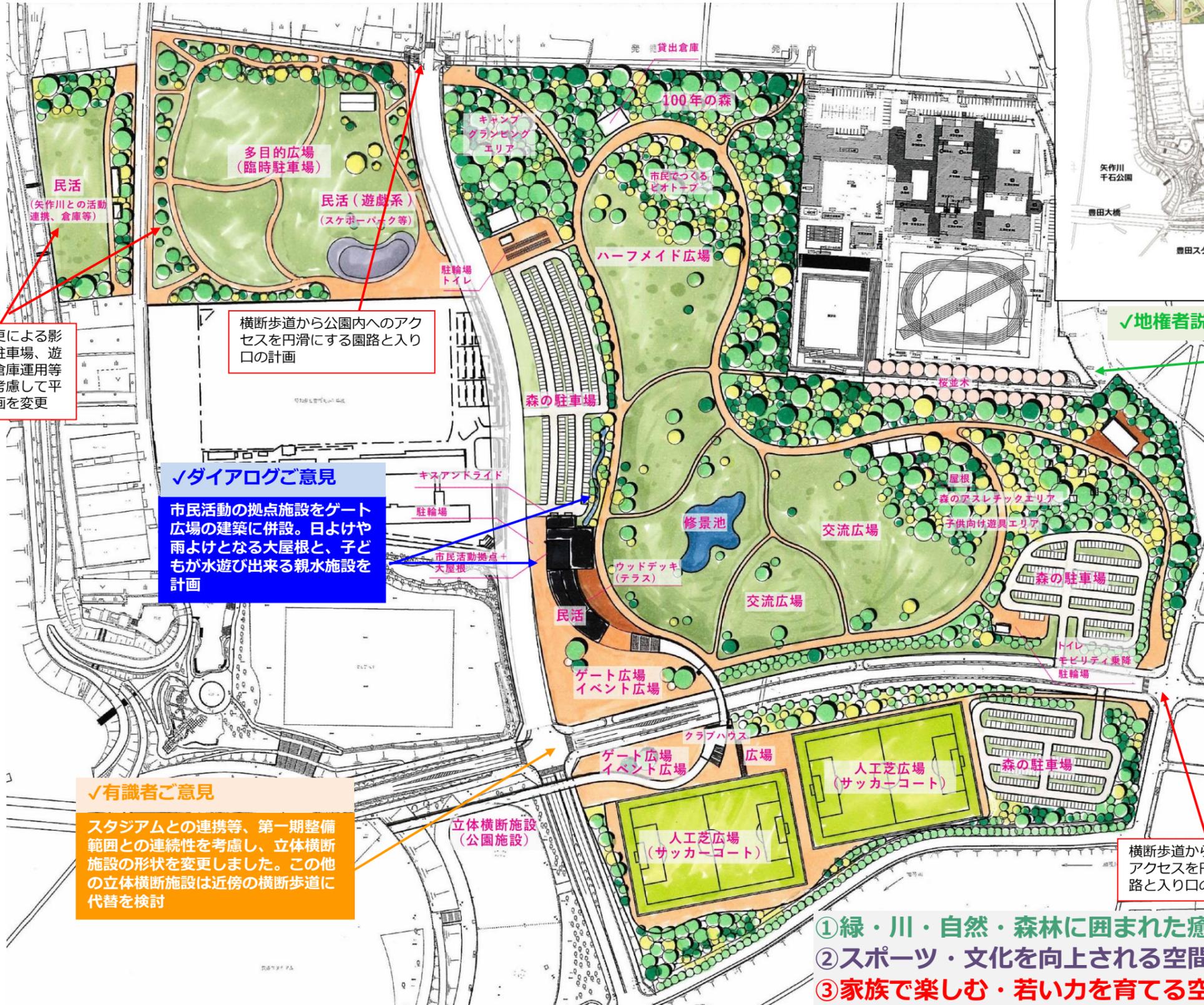
※最新プラン図

令和元年11月8日(金)
都市整備部公園緑地整備課
【議事資料1-2】

・これまでの関係機関協議や市民WS・地権者説明会等を通じ、ご意見を聞いてきたが、第2回推進会議(2019.3.13)でお示した計画案から大きな変更はありません。

2019.3.13 第2回推進会議での提示案

2019.11.8 現時点の最新案



動線の変更による影響、臨時駐車場、遊戯民活や倉庫運用等の機能を考慮して平面配置計画を変更

横断歩道から公園内へのアクセスを円滑にする園路と入り口の計画

市民活動の拠点施設をゲート広場の建築に併設。日よけや雨よけとなる大屋根と、子どもが水遊び出来る親水施設を計画

スタジアムとの連携等、第一期整備範囲との連続性を考慮し、立体横断施設の形状を変更しました。その他の立体横断施設は近隣の横断歩道に代替を検討

植樹された桜に合わせて、公園の敷地境界に桜を列植します。小学校との間の道が桜並木となり、春には花見が可能

***公園コンセプト**
(仮) フォレストレガシーパーク
「木、森、矢作川とのつながり」
=木や水、自然に触れながら、
「森林の大切さ」をレガシーとして伝える

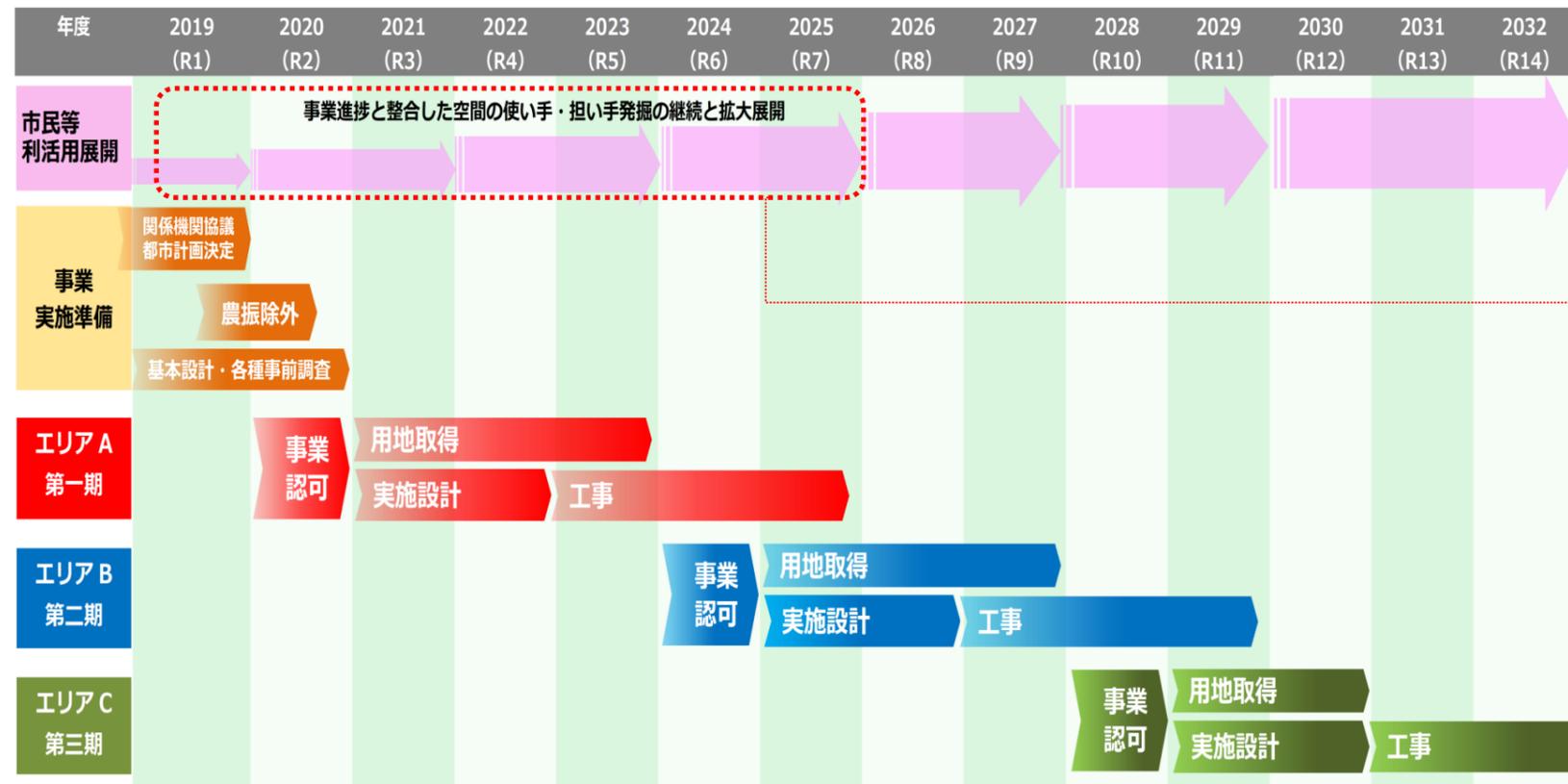
***5つのゾーニング=必要な機能**

- ① 緑・川・自然・森林に囲まれた癒しの空間づくり
- ② スポーツ・文化を向上される空間づくり
- ③ 家族で楽しむ・若い力を育てる空間づくり
- ④ 多世代・多国籍・他地域のつながりをつくる空間づくり
- ⑤ 生きがいがづくり・市民が育てる空間づくり

横断歩道から公園内へのアクセスを円滑にする園路と入り口の計画

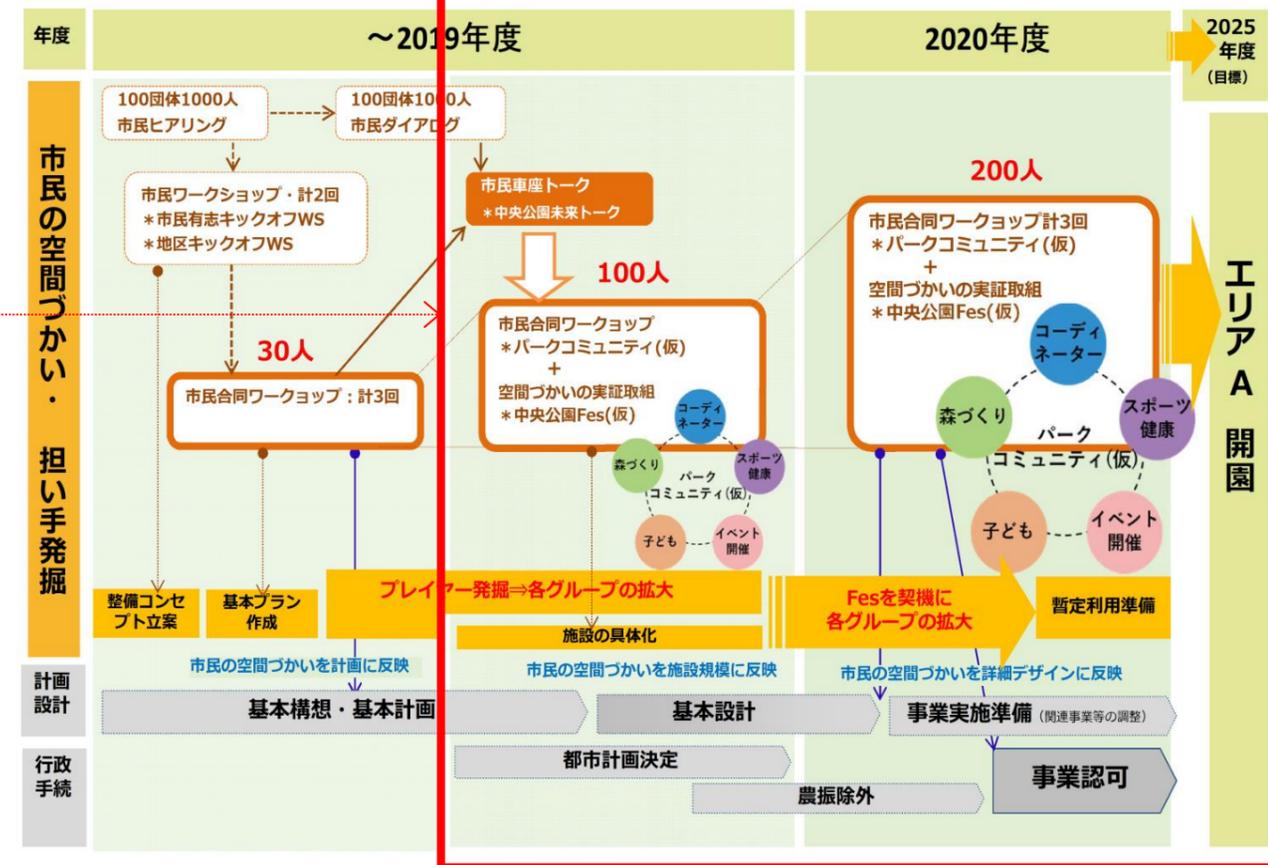
1) 基本計画(案)について ※全体の事業スケジュール等について

○全体の事業スケジュール

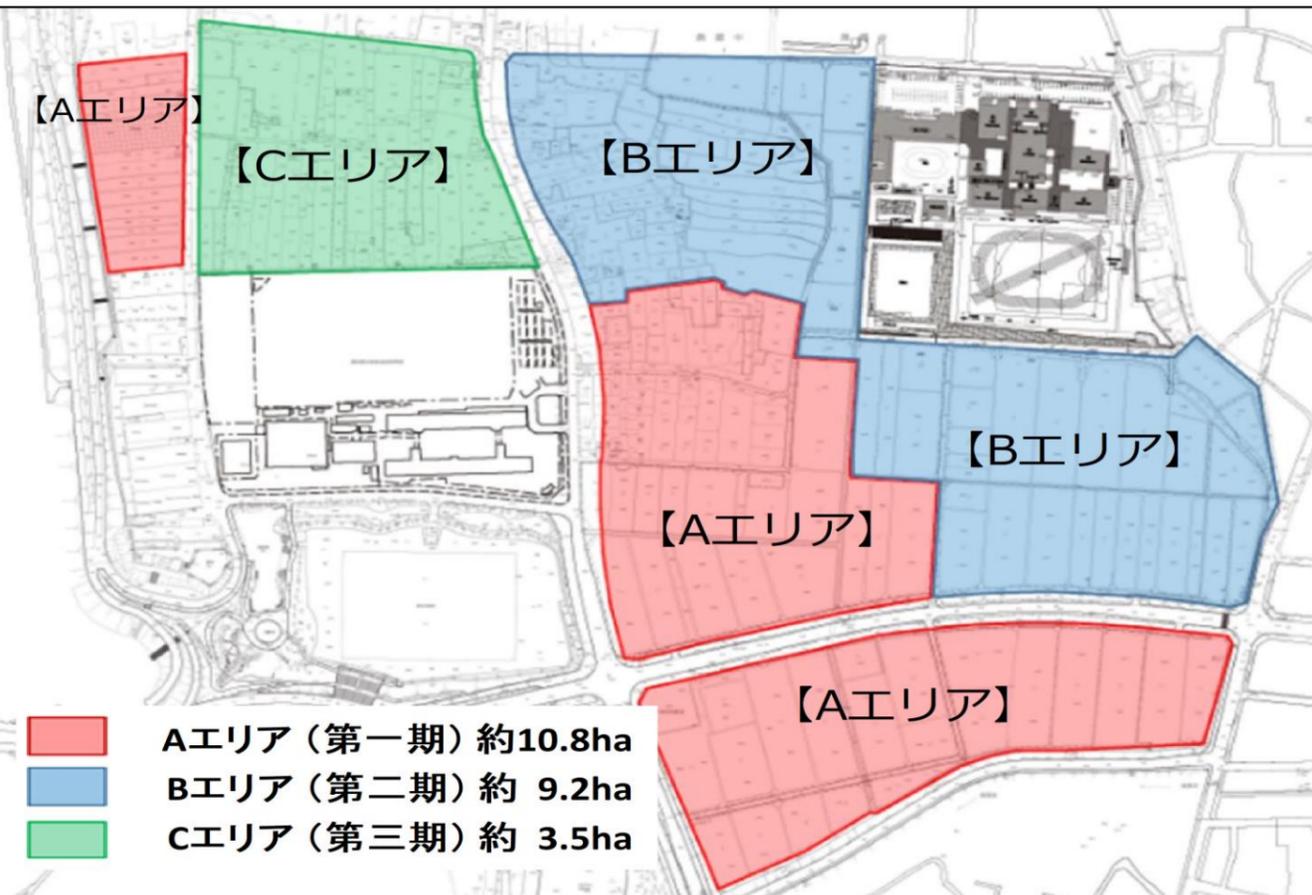


※このスケジュールは、現時点のもので、今後の関係機関との協議調整によっては変更になることもあります。

(2) 市民等の利活用方策の展開 (当面の展開イメージ)

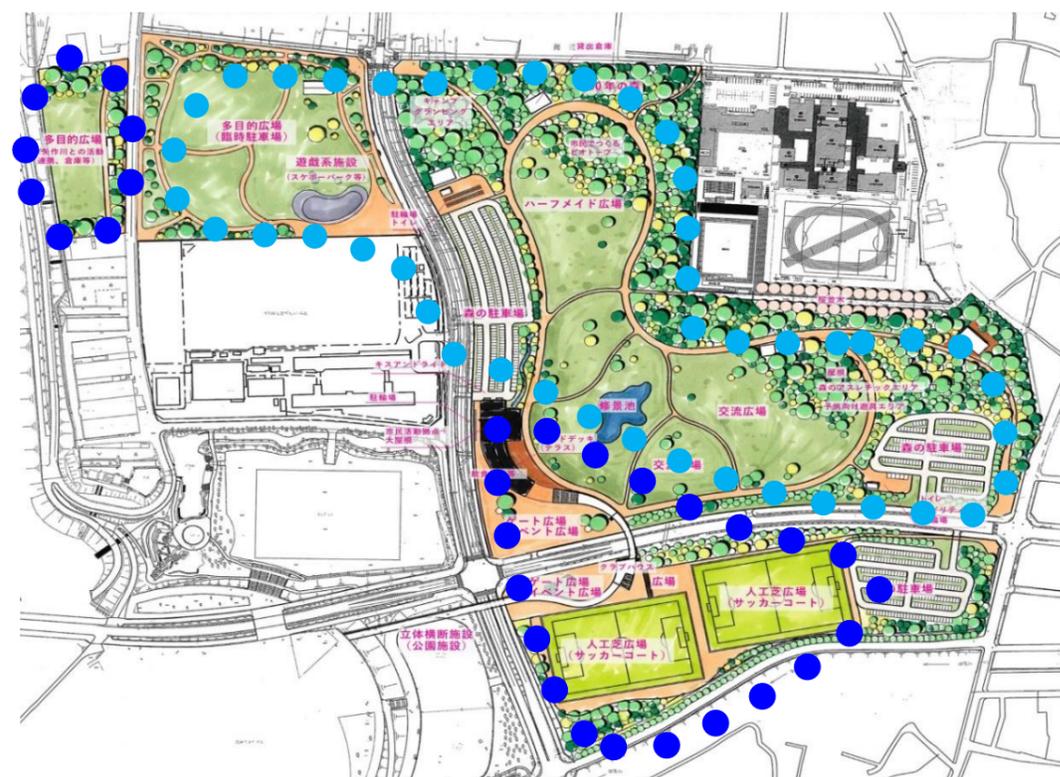


(1) 段階整備の進め方



(3) 民間活力導入の進め方イメージ案

考え方
・段階整備の進捗に合わせ、公園の集客力を高めながら、民間活力(民設民営等)の導入手法の検討を行っていく。



- 第一期整備
- 第二・三期整備

- STEP1 第一期整備 公設民営により利活用開始
- STEP2 集客を高める
- STEP3 第二期、第三期整備 民設民営の検討・実施
- STEP4 フルオープン

※このエリア区分は現時点のもので、今後の関係機関との協議調整によっては変更になることがあります。